

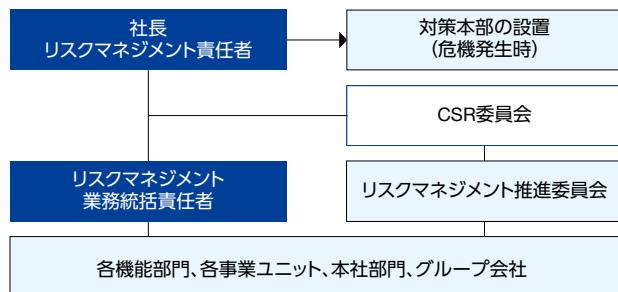
リスクマネジメント

リスクマネジメントの推進

オリンパスグループでは、「リスクマネジメントおよび危機対応方針・規程」に基づき、グローバルなリスクマネジメント体制を構築し、事業リスクの低減に取り組んでいます。

リスクマネジメント

オリンパスグループでは、持続的な成長の実現に向けて、戦略、年度戦略および年度目標の達成におけるリスクを同一のプロセス/基準で抽出/評価した上で、リスクの重要度に応じた重点施策を効率的、有効的に策定しています。また、グループレベルのテーマとして策定された重点施策は可視化され、定期的に進捗がモニタリングされるシステムが構築されています。さらに、各地域に展開された事業目標の達成に向けても、同一のリスクマネジメントプロセスが実行されるようにプロセスのグローバル標準化活動も開始しました。この取り組みを実施することにより、戦略および年度目標の達成確度の向上につなげていきます。



危機管理

危機管理については、インパクトの大きい「大規模地震」や「サイバー攻撃」等を想定した対応プロセスの整備、教育、訓練等を継続的に実施しています。

「大規模地震」の対策については、日本においては全従業員向けのeラーニング教育のほかに有事の際に初期対応がスムーズにできるよう、経営者と現場が一体となった緊急対応訓練を実施しました。また、各事業における復旧プロセスの整備(事業BCP)についても、全事業領域において、強化を進めています。

事業展開上の主なリスク

認識するリスクと影響	リスクの概要
販売活動に係るリスク	医療分野:予測できない変化や許認可が適時に取得できない場合 科学事業:マクロ経済の変動により各国の国家予算が縮小された場合 映像事業:予想を超える急激な市場縮小が生じた場合
生産・開発活動に係るリスク	為替変動等の影響によりコスト増となった場合 供給元に依存している製品・部品の調達に制約を受けた場合 製品の不具合が発生した場合 顧客のニーズに合った製品をタイムリーに開発できない場合 知的財産権の侵害が主張され係争等が発生した場合
業務提携および企業買収等に係るリスク	技術および製品開発に係る戦略的提携関係の維持ができない場合 当社グループの経営戦略に沿って企業買収・統合ができない場合や、既存事業および買収等の対象事業について効率的な経営資源の活用を行うことができない場合 投資有価証券の株価および評価額に著しい変動が生じる場合
資金調達に係るリスク	金融市場環境の変化や当社グループの業績悪化等により資金調達コストが上昇した場合
情報の流出に係るリスク	技術情報等の重要な機密情報や顧客その他関係者の個人情報が漏洩した場合
内部統制に係るリスク	当社内部統制システムがさまざまな要因により機能しなくなった際に、適切な対処ができない場合
法的規制に係るリスク	ヘルスケア事業に関連する法解釈や適用指針の変更、法的規制への違反、法的規制への違反による罰金などの処罰や医療制度への参加が制限された場合
米国における十二指腸内視鏡に係るリスク	米国民事訴訟の進捗や米国食品医薬品局(FDA)、米国司法省によるさらなる規制措置が取られた場合
その他、包括的なリスク	国内外当局との協議・報告(独占禁止法、医薬品医療機器等関連法の遵守状況に関する検査への対応、米国司法省へのFCPA遵守に関する自発開示)の状況および適切な対処ができない場合 自然災害、疫病、戦争、テロ等が発生した場合や予想を超える金利の上昇、為替レートの変動が発生した場合

WEB 事業等のリスク:
<https://www.olympus.co.jp/ir/policy/risk.html>